

令和6年度

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

(区 画 整 理 事 業)

都道府県名	福 岡
-------	-----

地 区 名	奥八女東部地区
-------	---------

所 在 地	八 女 市
-------	-------

事 業 主 体	福 岡 県
---------	-------

目 次

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気象及び海象	2
1.	一般気象	2
2.	特殊気象	3
3.	海 象	3
第2節	土地状況	4
1.	地形、土壌及び浸食の程度	4
2.	土地分類	5
3.	土地利用の状況	6
4.	土地所有の状況	7
第3節	水利状況	8
1.	用水状況	8
2.	排水状況	10
3.	河川状況	12
第4節	道路現況	12
1.	道路概況	12
2.	主要道路一覧表	12
第5節	地域農業の概況	13
1.	産業別就業人口	13
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼別農家数	14
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	15
4.	主要作物作付状況	16
5.	農業の動向	17
第6節	地域環境の概況	18

第4章	一般計画	19
第1節	事業計画の要旨	19
1.	要 旨	19
2.	事業別面積	19
第2節	営農計画及び土地利用計画	20
1.	営農計画の概要	20
2.	土地利用区分	20
3.	作付方式	21
4.	生産計画	22
5.	労働改善計画	23
6.	級地別土地利用区分	23
7.	土地配分計画	23
第3節	用水計画	23
1.	計画基準年	23
2.	計画かんがい方式	23
3.	計画用水系統	23
4.	計画用水量	25
5.	水源計画	26
第4節	排水計画	28
1.	計画基準雨量	28
2.	計画排水方式	28
3.	計画排水系統	28
4.	計画排水量	30
5.	排水対策	31
6.	湛水検討	31
第5節	道路計画	32
1.	道路及び索道	32
2.	路線配置図	33

目

次

第6節	農用地造成計画	34
1.	農用地造成計画	—
2.	土壌改良	—
第7節	洪水調節計画	34
1.	計画基準雨量	—
2.	計画洪水量及び調節量	—
3.	貯水池	—
4.	洪水調節検討	—
5.	管理計画	—
第8節	干拓計画	34
第9節	農用地整備計画	35
1.	区画整理	35
2.	暗渠排水	37
3.	客土	37
4.	農地保全	37
第10節	老朽ため池改修計画	37
1.	洪水吐改修計画	—
2.	堤体補強計画	—
3.	取水施設改修計画	—
第5章	主要工事計画	38
第1節	用水施設	38
1.	貯水池	38
2.	頭首工	38
3.	揚水機	38
4.	用水路	38
5.	その他かんがい施設	38
第2節	排水施設	39
1.	排水水門	39
2.	排水機	39
3.	排水路	39
4.	その他排水施設	39

第3節	道路及び索道	40
1.	道路	40
2.	索道	40
第4節	農用地造成	41
1.	農用地造成	—
2.	土壌改良	—
第5節	洪水調節施設	41
1.	貯水池	—
2.	頭首工及び導水施設	—
第6節	干拓施設	41
1.	堤防	—
2.	潮止め	—
3.	付属施設	—
4.	埋立	—
第7節	農用地整備施設	41
1.	区画整理	41
2.	暗渠排水	43
3.	客土	43
4.	除礫	43
5.	農地保全	43
第8節	老朽ため池改修施設	43
1.	貯水池	—
2.	堤体補強施設	—
第6章	附帯工事計画	44
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	44
第8章	環境との調和への配慮	45
第1節	配慮の対象	45
1.	植物	45
2.	動物	45

目

次

第2節	配慮の考え方	45
第9章	換地計画の概要	46
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	46
第2節	換地区の設定	46
1.	換地区の名称、所在、面積	46
2.	換地区を設定する理由	46
第3節	換地計画樹立の基本方針	46
1.	従前の土地の地積の基準	46
2.	用途別予定地積	47
3.	農用地集団化の方針	48
4.	非農用地の換地方法	48
第4節	土地の評価及び清算の方法	49
1.	評価の方法	49
2.	清算の方法	49
第5節	換地計画樹立の年度計画	49
第6節	換地処分の特則に関する特則	49
第10章	事業費の総額及び内訳	50
第11章	効 用	51
第12章	関連する事業	52
第13章	現況・計画図面	52
1.	現況平面図	別途
2.	計画平面図	別途
3.	主要構造図	別途

第1章 目 的

本地区は、地形勾配1/10程度の水田地帯であり、用排水路や耕作道路が無く田越しによる営農と作業に支障をきたしている。また、農地の規模が非常に小規模で、小型の農業機械による作業となり営農に多大な労力を費やしている。

そのため、営農作業効率の向上による労力の削減などができる区画・道路・用排水路の早急な整備が望まれている。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
区画整理事業	福岡県八女市矢部村

第2節 地 積

(令和4年12月現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
区画整理事業	八女市	1.8	0.3	0.0	—	0.1	2.2	
合 計		1.8	0.3	0.0	—	0.1	2.2	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表－1)

観測所名	黒木観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	S51～R3	6月～10月	11月～5月		
平 均 気 温 (°C)		23.1	9.8	15.4	
降 水 量	平 均 (mm)	1,305	764.0	2,069	
	基 準 年 (mm)	748.0	732.0	1,480.0	基準年 … 昭和39年
降水日数	平 均 (日)	113	100	213	
	基 準 年 (日)	26	42	68	基準年 … 昭和39年
根 雪 期 間		—			
無 霜 期 間		—			
最 多 風 向		NNW	最 大 風 速 (風向)	17.0 m/s (S)	最大風速発生年月日 平成16年9月

2. 特殊気象

(第3表－2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
黒木観測所																
観測期間	数	年 月 日	発 生 確 率	数	年 月 日	発 生 確 率	数	年 月 日	発 生 確 率	数	年 月 日	発 生 確 率	数	年 月 日	発 生 確 率	
S51年～R3年	量			量			量			量			量			
最大日雨量 (mm)	415.0	H24.7.14	1/431	301.0	R3.8.14	1/33	287.5	R2.7.6	1/25	255.5	H30.7.6	1/13	226.0	S63.6.23	1/7	
最大時間雨量 (mm)	91.5	H24.7.14	1/51	83.0	H10.8.17	1/26	79.5	H25.7.3	1/20	77.0	H7.7.2	1/16	74.0	R3.9.2	1/13	
最大4時間雨量 (mm)	219	H24.7.14	1/112	170	R1.8.28	1/24	151	H20.6.19	1/13	149	S63.6.23	1/12	146	R2.7.10	1/11	
最大連続雨量 (mm)	996	R3.8.11～ R3.8.22	—	936	R2.7.3～ R2.7.16	—	909	S60.6.24～ S60.7.6	—	691	S54.6.24～ S54.7.4	—	649	H24.7.11～ H24.7.14	—	
最大連続干天日数 (日)	56	H6.6.23～ H6.8.17	—	51	R3.9.18～ R3.11.7	—	49	H18.9.18～ H18.11.5	—	47	S63.10.7～ S63.11.22	—	44	S58.10.27～ S58.12.9	—	

3. 海 象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(1) 地形

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高 (m)		備考
	傾斜区分	1/1,000 未 満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以 上	計	3° 未 満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以 上	計	最高	最低	
区画 整理 事業	面積 (ha)					1.8	1.8			0.4			0.4	504	468	
	比率 (%)					100.0	100.0			100.0			100.0			
合 計	面積 (ha)					1.8	1.8			0.4			0.4			
	比率 (%)					100.0	100.0			100.0			100.0			

(2) 土壌

(第4表-1-2)

項 目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)		備 考	
	土 壌 断 面						堆 積 様 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植 層	礫 層	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	区画整理事業		計
				表土	下 層 土							
				一層	二層	三層						
新野統	$\frac{Y}{YR}$	なし	なし	粘質	粘質	—	—	残積	固結火成岩	2.2	2.2	
計										2.2	2.2	

2. 土地分類

該 当 な し

3. 土地利用の状況

(第4表－3)

事業名	土地利用区分 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 園 他 の 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
区 画 整 理 事 業	八女市	1.8	0.3	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.1	2.2	
	計	1.8	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	2.2	
	合 計	1.8	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	2.2	

4. 土地所有の状況

(第4表－4)

事業名	所有別 区分	個人有	市町村有			計	備 考
区 画 整 理 事 業	面 積 (ha)	2.1	0.1			2.2	
	受益者数 (人)	9	1			10	
	筆 数 (筆)	87	27			114	
	権 利 関 係	所有権	-				
	備 考 (関係戸数)						
合 計	面 積 (ha)	2.1	0.1			2.2	
	受益者数 (人)	9	1			10	
	筆 数 (筆)	87	27			114	
	権 利 関 係	所有権	-				
	備 考 (関係戸数)						

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

本地区は山口川から取水し、U字溝・現場打ち水路等を通じて下流の農地に送られている。

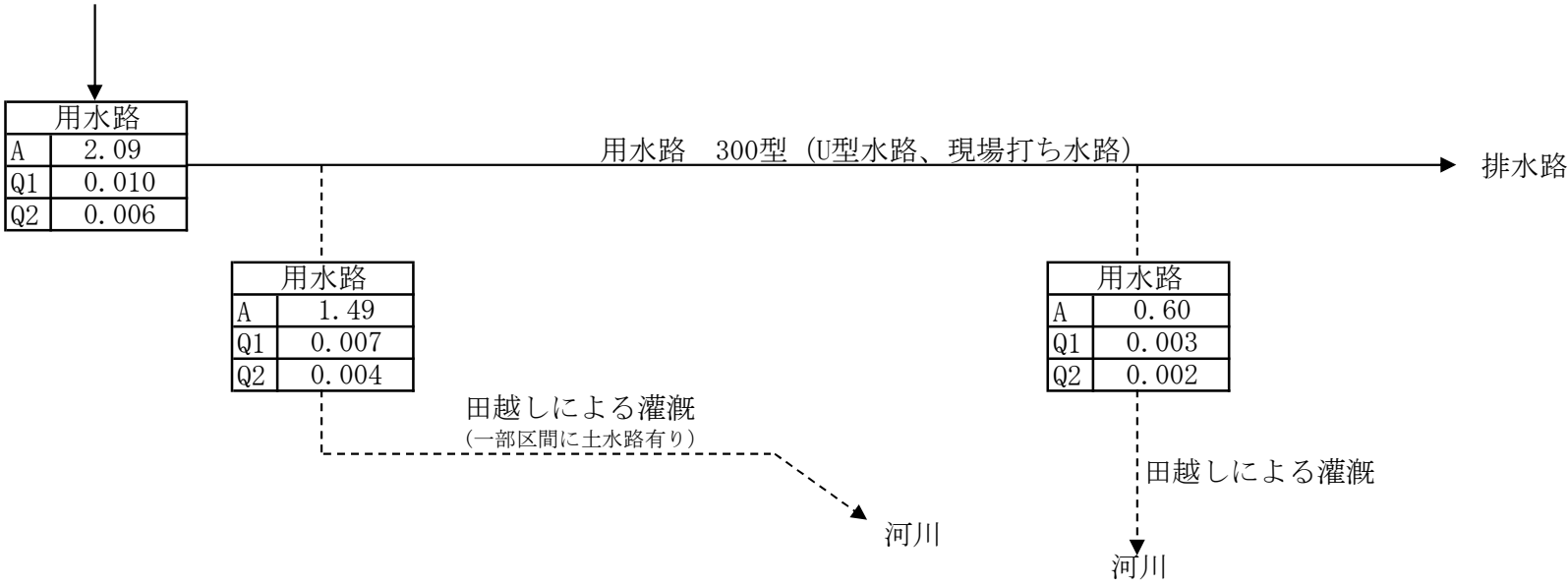
(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表－1)

事業名	項 目 施 設 名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣行水利権		延べ取水量	備 考
		500 ha以上		500～100 ha		100 ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s		
区 画 整 理 事 業	貯 水 池														
	井 堰					1	2.1	1	2.1	-	-	1	0.010	0.010	
	自然取入口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計														
合 計						1	2.1	1	2.1						

現況用水系統図



凡例

路線名	
A	受益面積
Q1	代掻期用水量
Q2	普通期用水量

単位用水量	代掻期	0.0044	m3/s/ha
	普通期	0.0026	m3/s/ha

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年度	改修を必要とする理由	備 考
	施 設 名							
	貯 水 池							
	井 堰							
	自然取入口							
	揚 水 機							
	そ の 他							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統

本地区の排水は、山口川へ自然排水を行っている。

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表－4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備 考
			500 ha以上		500～100 ha		100 ha未満						
	施 設 名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
区画整理事業	自然	排水路					1	2.1	1	2.1	2.748	3.022	φ1100:Q=3.022m3/s (既設排水管)
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計										2.748		
合 計							1	2.1	1	2.1	2.748		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表－5)

事業名	項 目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年度	改修を必要とする理由	備 考
	施 設 名								
区画整理事業	自然	排水路							
		水 門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
合 計									

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1)河川状況

該 当 な し

(2)洪水に関する被害状況

該 当 な し

第4節 道路現況

1. 道路概況

該 当 な し

2. 主要道路一覧表

該 当 な し

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 採石業 砂利採取業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運 輸 通信業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産業 物品賃貸業 (人)	サービ ス 業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備 考
八 女 市	30,782	5,239	176	5	3	2,681	3,982	60	1,508	4,004	331	232	4,689	930	6,942	2 0 2 0 年 国 勢 調 査
計	30,782	5,239	176	5	3	2,681	3,982	60	1,508	4,004	331	232	4,689	930	6,942	
比率(%)	100.0	17.0	0.6	0.0	0.0	8.7	12.9	0.2	4.9	13.0	1.1	0.8	15.2	3.0	22.6	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	総 農 家 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1 戸 当 た り 平 均 農 用 地 面 積 (ha)							専 兼 業 別 農 家 数(戸)※			備 考
		を 受 け る も の 適 用	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自 給 的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	専 業	兼 業			
			～	～	～	～	～	～	～	～	ha									第 一 種	第 二 種		
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	以上												
八 女 市	2,435	84	444	750	390	186	205	197	79	9	6	85	0.7	0.5	1.3	2.5	0	2.5	1,484	585	1,075	※ 2 0 2 0 1 0 5 年 農 林 業 セ ン サ ス	
計	2,435	84	444	750	390	186	205	197	79	9	6	85.0	0.7	0.5	1.3	2.5	0.0	2.5	1,484	585	1,075		
比率(%)	100.0	3	18	31	16	8	8	8	3	0	0	3	29%	18%	53%	100%	0%	100%	47%	19%	34%		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項目		動力農機具				主要家畜								備考
	トラクター		コンバイン		田植機		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
八女市	2,280	2,091	1,260	1,219	1,604	1,555	329	8	x	10	17,020	5	4,502	3	2020年 農林業センサス 動力農機具 平成27年農林業センサス ※「x」は秘密保持上統計数値を公表しないもの。 ※動力農機具については、 2020年 農林業センサスに記載なし
計	2,280	2,091	1,260	1,219	1,604	1,555	329	8	x	10	17,020	5	4,502	3	
100経営体当たり数量 (台・頭)	109		103		103		-		-		-		-		農業経営体数 2,435 経営体
利用経営体数割合 (%)	86%		50%		64%		-		-		-		-		

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			八 女 市						計	平 均	作付割合 (%)	備 考
総耕地面積(ha)			6,450						6,450			
総本地面積(ha)			2,230						2,230			
区 分 作 物 名			作付面積 (ha)	単位面積 当り収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当り収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当り収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当り収量 (kg/10a)		
田	表 作	水 稻	1,220	443					1,220	443	55	第68次九州農林 水産統計年報(市 町村別データ)
		豆 類 (大 豆)	80	129					80	129	4	
	裏 作	麦 類 (小 麦)	260	401					260	401	12	
		麦 類 (大 麦)	78	473					78	473	3	
	小 計		1,638						1,638		73	
計			1,638						1,638			
市 町 村 別 延べ作付率(%)			73%						73%			

5. 農業の動向

(第7表－5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜			動 力 農 機 具			地域 指定等	備 考
		B	A		B	A	作 物 名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	86	65	耕 地	89	69	水 稻	92	80	乳用牛	63	50	トラクター	81	—	過疎地域R3 中山間地域H29	A:令和2年 (2020年 農林業センサス) B:平成27年 (2015年 農林業センサス) C:平成22年 (2010年 農林業センサス) (農業就業人口: 国勢調査) ※「—」は2020年センサスに記載なし
	専業農家数	95	—	田	88	64	麦 類	87	76	肉用牛	100	91	コンバイン	79	—		
	第一種兼業農家数	76	—	畑	182	143	大 豆	142	122	採卵鶏	83	50	田植機	76	—		
	第二種兼業農家数	75	—	樹園地	78	64											
	農業就業人口	90	74														
変化の理由	他産業への転業及び後継者不足による減少			農家数の減少及び、農地の転用等により耕地減少			耕地の減少及び作付け体系の変化による増減			畜産経営体戸数の減少			農家数の減少に伴う所有台数減				

第6節 地域環境の概況

1. 動物等生態系の概要

調査により抽出された生物は以下のとおりである。

維管束植物(ハリモミ、ゴヨウマツ、アズキナシ、エンシュウツリフネソウ、ミヤマキリシマ、オサシダ、オシヤグジデンド、キハダ、フウリンウメモドキ、オオキヌタソウ、クサヤツデ、ヤマトミクリ)

鳥類(フッポウソウ、ヤマトリ) 両生類(トノサマガエル、ニホンヒキガエル)

淡水魚類(アガサ、スジシマトシヨウ、トシヨウ、カンカ)

昆虫類(キバネセリ、スキタニルリシジミ、タイワンツバメシジミ、オオウラギンスジヒョウモン、ミヤマセリ)

『参考文献： 矢部村田園環境整備マスタープラン・福岡県レッドデータブック』

2. その他の地域環境の概要

本市は福岡県の南部、福岡市から南へ約50kmに位置し、北は広川町、久留米市、うきは市、南は熊本県、東は大分県と県境に面している。

本市の面積は482.44km²で、県内では北九州市に次ぐ広大な面積であり、西部は平野で、東及び南東部は森林が大半を占めている。市内には釈迦ヶ岳山地に源を発した矢部川が東部から西部へ流れ有明海に注いでおり、星野川、田代川、辺春川、白木川、横山川及び花宗川などの中小の河川が市内を流れ、農業や伝統産業及び自然環境の基となっている。

矢部村は標高310mから1,200mの間にあり、四方を急峻な山岳に囲まれており、国道442号と並走する形で一級河川矢部川が田出尾川、御側川、臼ノ払川、柏木川等の支流を集め、県営日向神ダムへ流入している。

矢部村の大部分は矢部川県立自然公園の一部であり、豊富な自然を有している。急傾斜地な矢部村では、農地開発に適した場所は多くない状況である。

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区は、山口川流域沿いに広がる水田地帯で、1筆の区画面積が狭小で形状も悪く、利用集積の阻害要因になっている。事業実施後は、用排水路の分離や道路の整理を行い農地の汎用化による、高品質・高収益の作物を導入し、農地の高度利用と営農の省力化を計り、農業経営の安定化を目指す。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理事業					計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)		
区画整理	1.7	—	—	—	—	1.7	
計	1.7	—	—	—	—	1.7	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区のほ場は、山間部特有の棚田を形成しており、区画は狭小で農道及び用排水路は断面が小さく錯綜しており、営農上劣悪な状況である。このため、耕作放棄地の発生等が一部危惧され早急な整備が必要である。

そこで、ほ場整備及び農地の集団化等を図ることによって、農業生産性の向上を図り魅力ある農業経営を図りながら、農業構造の改善に資することを目的とする。

2. 土地利用区分

(第9表－1)

事業名	土地利用区分	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶 園	その他の樹園地	小 計	原 野	山 林	その他	計	備 考
	区 分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理事業	現 況	1.8	0.3	—	—	—	—	2.1	0.0	—	0.1	2.2	
	計 画	1.7	—	—	—	—	—	1.7	—	—	0.5	2.2	
計	現 況	1.8	0.3	—	—	—	—	2.1	0.0	—	0.1	2.2	
	計 画	1.7	—	—	—	—	—	1.7	—	—	0.5	2.2	

3. 作付方式

(第9表－2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
区画整理事業	現 況		輪換耕地							水稻																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

4. 生産計画

(第9表－3)

事業名	項目 土地利用 区分		作 物 名	作 付 面 積 (h a)			作 付 率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)又は (本/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増 の内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当 たり 収量増減	
区画整理事業	水田	表作	水稻	1.8	0.9	△ 0.9	100	69	441	450	9	7.9	4.1	△ 3.8	△ 3.9	0.1	作付面積 は本地面積
			いちご	0.0	0.4	0.4		31	3,768	3,768	0	0.0	15.1	15.1	15.1	0.0	
		裏作															
			小計														
		小 計		1.8	1.3	-	100	100									
		普通畑	表作														
	裏作																
	小 計		0.0	0.0	-	0	0										
	樹園地	通年															
		小 計															
	合 計			1.8	1.3	-	100	100									

5. 労働改善計画

事業名	項目 土地 利用 区分	作 物 名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10 a)				備 考	
				区分	現況	計画	増減		
区 画 整 理 事 業	水田	水稲	0.9	人力	68.5	7.1	△ 61.4	作付面積は本地面積	
				機械力	21.0	2.6	△ 18.4		
		いちご	0.4	人力	1,557.0	1,522.7	△ 34.3		
				機械力	138.5	109.0	△ 29.5		
		普通畑			人力				
					機械力				
	人力								
	機械力								
	合 計		1.3						

6. 級地別土地利用区分

該 当 な し

7. 土地配分計画

該 当 な し

第3節 用水計画

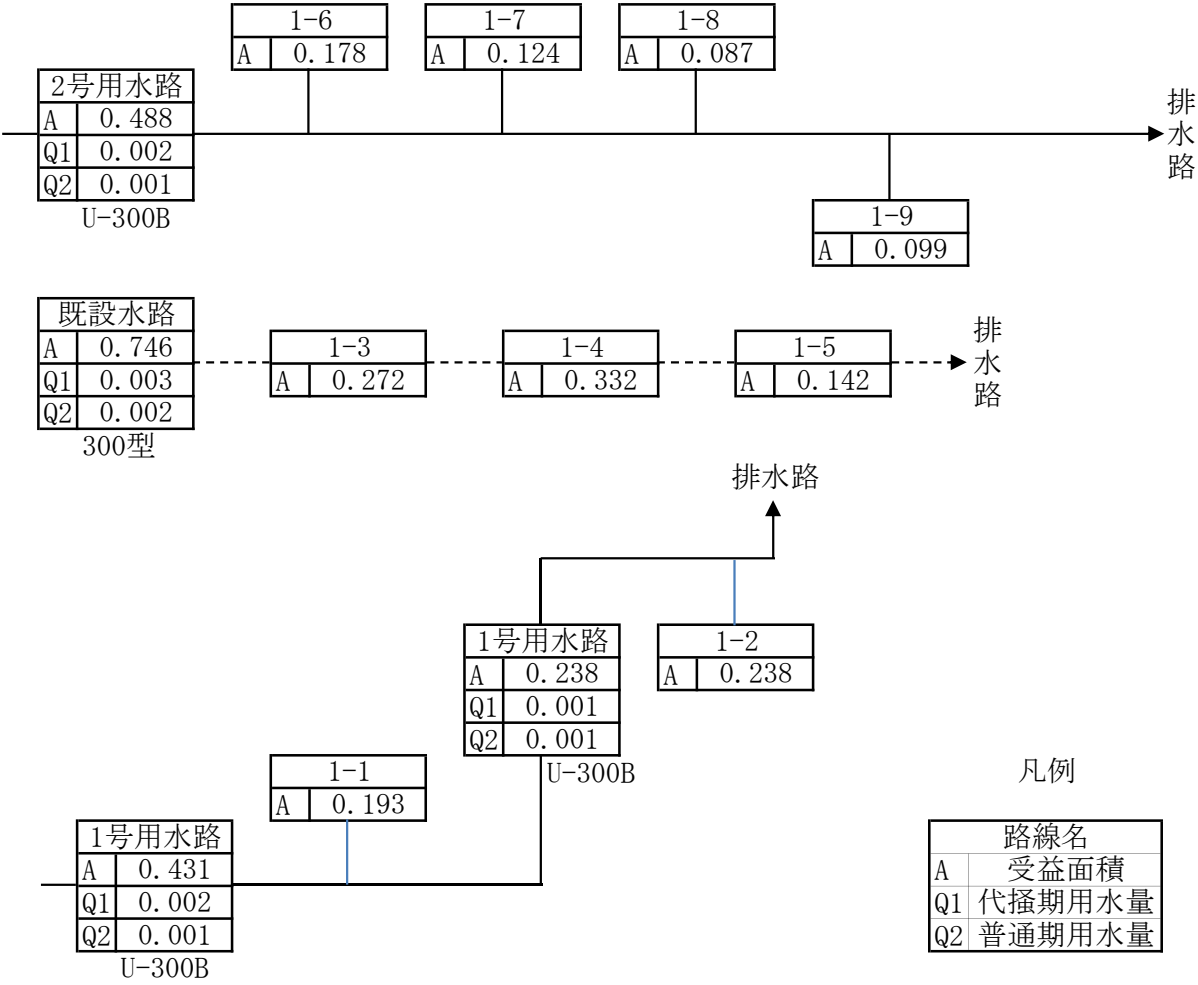
1. 計画基準年

昭和39年(近傍地区(新星野地区)に倣い、「国営筑後川下流地区」に準ずる。)

2. 計画かんがい方式

開水路(ライング)による自然かんがい

3. 計画用水系統



単位用水量 代掻期 0.0044 m³/s/ha
 普通期 0.0026 m³/s/ha

4. 計画用水量

(1)かんがい用水

(第10表－1－1)

項 目 系統名	種別	受益面積(ha)	水田かんがい		水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		事 業 名	普通期	代かき期	面 積 (ha)	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面 積 (ha)	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面 積 (ha)	単位用水量 計画平均 (mm/日)			面 積 (ha)	平 均 (m ³ /s)		最 大 (m ³ /s)
		区画整理事業	単位用水量 計画平均 (mm/日)	単位代かき 水量 (mm/日)														
奥 八 女 東 部	農 業 用 水	1.7	13.1	150	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	15	0.004	0.007	
計																		

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表－2)

項 目 区分	消費 水量	有効 雨量	純用 水量	粗用 水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
	a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1- α) (千m ³)	水源名	取水地 点利用 可能量	ほ場 利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量	水源 工種	損失率: α
奥 八 女 東 部	35.9	－	35.9	42.2	河川	42.2	35.9	0.0	0.0	－	－	－	0.15
計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(ウ) 揚水機

該当なし

(エ) 用水路

(第10表－6)

名称 項目	かんがい面積(ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構 造	備考
	事業名				
	区画整理事業				
用水路	1.7	0.004	245	U字溝	
計	1.7	0.004	245		

(オ) その他水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

計画基準雨量は、黒木観測所降雨資料(昭和51年～令和3年)に基づき確率計算により決定。

時間雨量	64.3mm/hr (1/10確率)
	44.6mm/hr (1/2確率)

4時間雨量	141.7mm/4hr (1/10確率)
	89.4mm/4hr (1/2確率)

2. 計画排水方式

排水方式 : 自然排水

3. 計画排水系統

別紙排水系統模式図参照

【計画排水系統図】

(3号排水路)

地区外流域 1			
	地区内	地区外	計
田			
畑			
山林		4.234	4.234
その他			

地区外流域 1		
	地区内	地区外
田		
畑		
山林		0.064
その他		

地区内流域 (1-7～1-9)		
	地区内	地区外
田	0.332	
畑		
山林		
その他		

地区外路線 1	
	全体
田	0.332
畑	
山林	4.298
その他	
Q _{1/2}	0.335
Q _{1/10}	0.485
(500×600 I=1/150)	

河川へ

(2号排水路)

地区外流域 2			
	地区内	地区外	計
田			
畑			
山林		6.990	6.990
その他			

地区内流域 (1-6)		
	地区内	地区外
田	0.144	
畑		
山林		
その他		

地区外路線 2	
	全体
田	0.144
畑	
山林	6.990
その他	
Q _{1/2}	0.526
Q _{1/10}	0.760
(800×600 I=1/200)	

地区外路線 2	
	全体
田	1.536
畑	
山林	6.990
その他	0.152
Q _{1/2}	0.598
Q _{1/10}	0.874
(900×600 I=1/200)	

河川へ

(1号排水路)

地区内外流域 (1-1, 地区外流域)			
	地区内	地区外	計
田	0.240		0.240
畑			
山林			
その他		0.152	0.152

地区内流域 (1-3～1-5)		
	地区内	地区外
田	0.936	
畑		
山林		
その他		

地区内流域 (1-2)		
	地区内	地区外
田	0.216	
畑		
山林		
その他		

地区外路線 2	
	全体
田	1.392
畑	
山林	
その他	0.152
Q _{1/2}	0.072
Q _{1/10}	0.114
(500×600 I=1/250)	

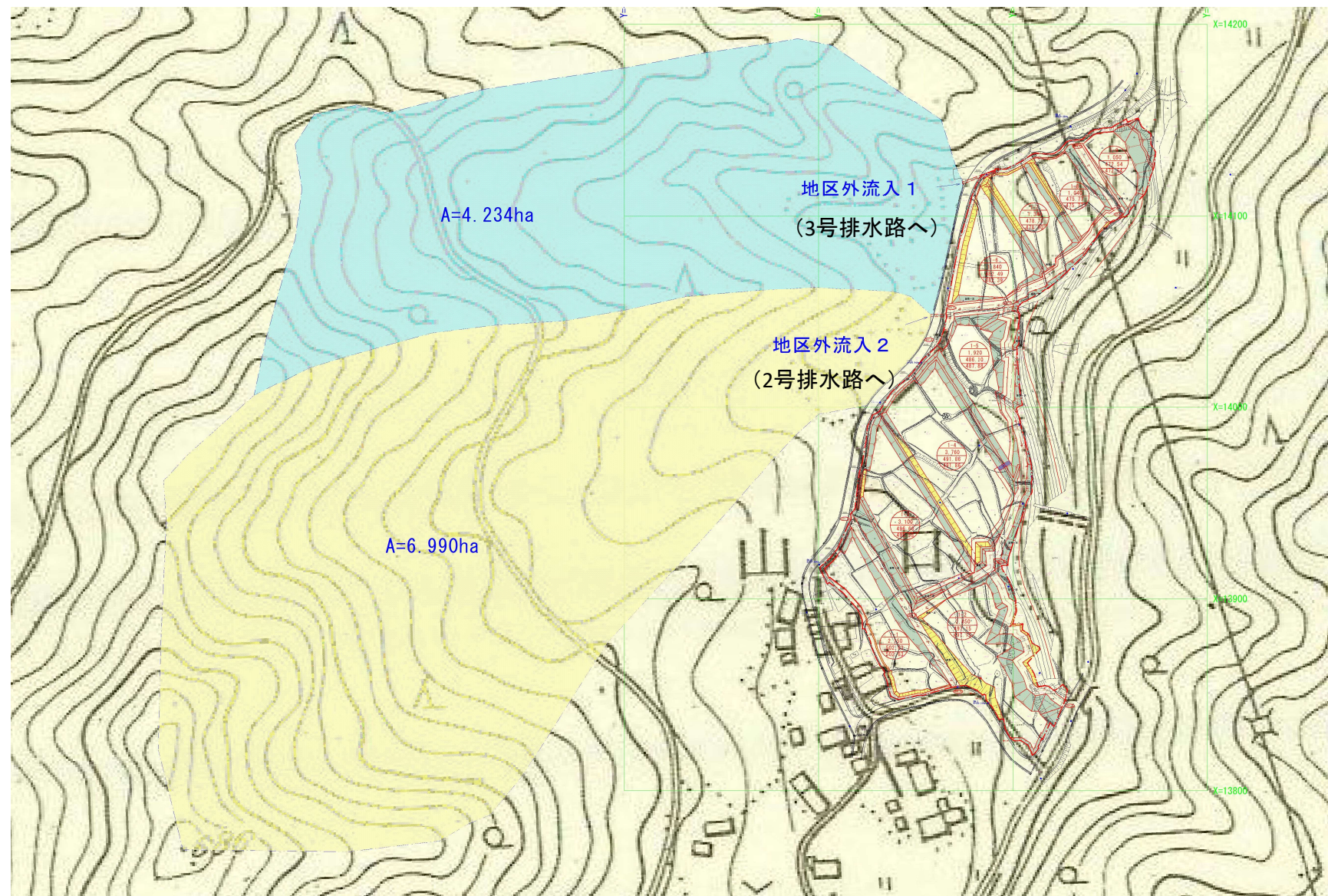
時間雨量による単位排水量

・ 1/10確率	耕地	q1	=	0.07144
	山林・宅地	q1	=	0.10717
・ 1/2確率	耕地	q1	=	0.04956
	山林・宅地	q1	=	0.07433

4時間雨量による単位排水量

・ 1/10確率	q4	=	0.07380
・ 1/2確率	q4	=	0.04656

(地区外流域図)



4. 計画排水量

(第11表-1)

項 目 排水系統名	受益面積(ha)	流域面積		基準 雨量	降雨による直接 単位流出量 (m³/s/km²)		基底流出量 (m³/s/km²)		全 排 水 量 (m³/s)			単位排水量		備考
	事 業 名	(km²)							山 地	平 地		(m³/s/km²)		
	区画整理事業	山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地		自然排水	機械排水	山 地	平 地	
排水路1	1.39	-	0.0154	64.3mm/hr	10.717	7.380	-	-	-	0.114	-	10.717	7.380	3号排水路
排水路2	0.14	0.0699	0.0014	64.3mm/hr	10.717	7.380	-	-	0.749	0.011	-	10.717	7.380	2号排水路
排水路3	0.33	0.0430	0.0033	64.3mm/hr	10.717	7.380	-	-	0.461	0.025	-	10.717	7.380	1号排水路
計	1.86	0.1129	0.0201						1.210	0.150				

5. 排水対策

(1)排水水門

該 当 な し

(2)排水機

該 当 な し

(3)排水路

(第11表－4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)	計 画 排 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名				名 称	計 画 洪 水 量 (m ³ /s)	計 画 洪 水 位 (m)	
		区画整理事業							
排水路1	0.0154	1.39	0.114	0.191	コンクリート柵渠	山 口 川			
排水路2	0.0014	0.14	0.011	0.033	コンクリート柵渠	山 口 川			
排水路3	0.0033	0.33	0.025	0.075	コンクリート柵渠	山 口 川			
計	0.0201	1.86		0.299					

(4)その他

該 当 な し

6. 湛水検討

該 当 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表－1)

項 目 路 線 名	幅(有効) × 延長 (m) (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路1	4.0 (3.0) × 103	砕石舗装		
支線道路2	4.0 (3.0) × 196	砕石舗装		
支線道路3	4.0 (3.0) × 85	砕石舗装		
支線道路4	4.0 (3.0) × 170	砕石舗装		

(2) 索道

該 当 な し

2. 路線配置図

別紙図面のとおり

【路線配置図】



第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表－1)

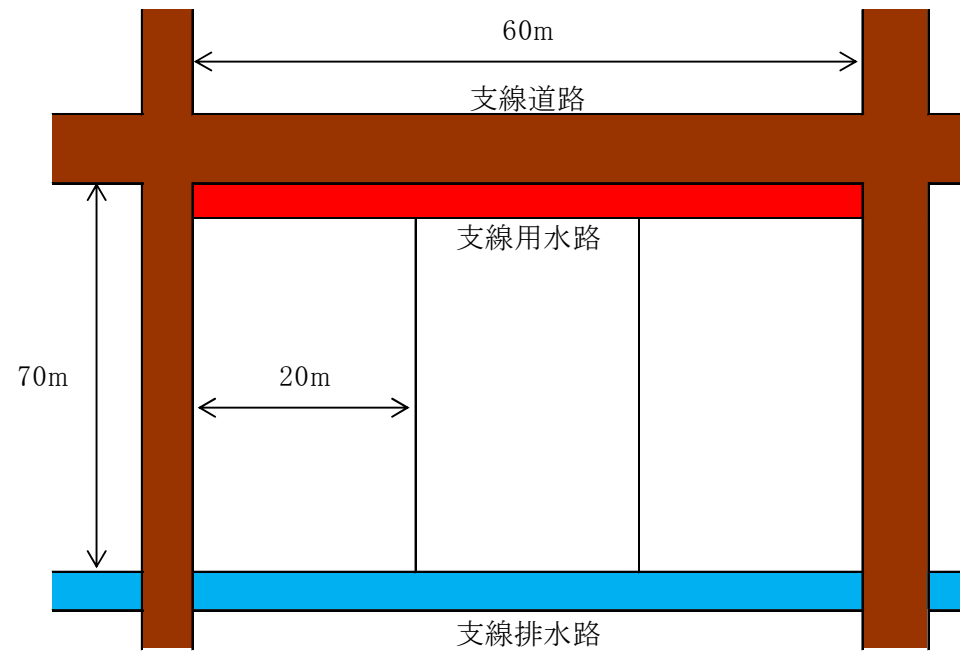
短辺×長辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
20×70	0.14	1.67	100	4.1	

(2) 表土扱い

(第16表－2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備 考
2.1	表土15cmは土質は粘土混じり砂であるが、耕作土の範囲には転石が確認できる	15	3,150	

(3) 末端道水路配置図



2. 暗渠排水
該当なし

3. 客土
該当なし

4. 農地保全
該当なし

第10節 老朽ため池改修計画
該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工

該当なし

3. 揚水機

該当なし

4. 用水路

(第17表-4)

項 目 水路名	かんがい面積(ha)	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名		開きよ	トンネル そ の 他	計				
	区画整理事業								
用水路	1.7	0.004	0.245		0.245	U字溝	1/9		
計									

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該 当 な し

2. 排水機

該 当 な し

3. 排水路

(第18表－3)

項 目 水 路 名	受益面積(ha)	排水量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名		開 き よ	トンネル その他	計				
	区画整理事業								
排水路1	1.39	0.114	0.191		0.191	コンクリート柵渠			
排水路2	0.14	0.011	0.033		0.033	コンクリート柵渠			
排水路3	0.33	0.025	0.075		0.075	コンクリート柵渠			
計	1.86		0.299		0.299				

4. その他排水施設

該 当 な し

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1)道路の総括表

(第19表－1)

区分 \ 項目	路線名	幅(有効)×延長 (m) (m)		構造	附帯構造物			最急勾配 (%)	同延左長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
					名 称	構 造	数 量 (箇所)				
農 道	支線道路1	4.0 (3.0)	× 103	碎石舗装							
	支線道路2	4.0 (3.0)	× 196	碎石舗装							
	支線道路3	4.0 (3.0)	× 85	碎石舗装							
	支線道路4	4.0 (3.0)	× 170	碎石舗装							

(2)道路主要構造物

該 当 な し

2. 索道

該 当 な し

第4節 農用地造成

該 当 な し

第5節 洪水調節施設

該 当 な し

第6節 干拓施設

該 当 な し

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表－1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備 考
		標準区画	土量 (m ³)	面積 (ha)	土量 (m ³)	
奥八女東部	1.67	20×70	4,050	2.1	3,150	

(2) 末端用水路等

(第23表－2)

項目 区分	数量	規模	構造	備考

(3) 末端排水路等

(第23表－3)

項目 区分	数量	規模	構造	備考

2. 暗渠排水
該 当 なし

3. 客土
該 当 なし

4. 除礫
該 当 なし

5. 農地保全
該 当 なし

第8節 老朽ため池改修施設

該 当 なし

第6章 附 帯 工 事 計 画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 令和6年度

完 了 令和11年度

第8章 環境との調和への配慮

第1節 配慮の対象

1. 植物

該当なし

2. 動物

両生類

第2節 配慮の考え方

- ① 工事期間中に発見された個体は、施工区間外の周辺の類似した環境へ移動させるなどして、悪影響の軽減に努める。
- ② 工事期間中は、工事車両によるロードキルが起これないよう、関係者に対して減速等の配慮を周知することに努める。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、基盤整備を通じて、農地の集積及び集落別集団化を行い、生産性の向上を図る。そのために、工事着手前において換地計画に関する基礎調査及び換地設計基準を作成し、換地区全域の換地計画原案を作成する事前換地とする。なお、換地計画原案樹立にあたっては、地区内農家の意向を反映し、地域における農業振興計画及び土地利用計画との調整を関係機関と十分協議し作成する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表－1)

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
奥八女東部	福岡県八女市矢部村矢部	2.2

2. 換地区を設定する理由

工事完了後速やかに換地処分を行うことにより権利関係の安定を図るため、工期及び土地所有者状況等を考慮し1換地区とする。

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表－2)

換地区名	地積の基準
奥八女東部	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 ただし、上記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地												機能交換に係る土地					一般 国公有地	総 合 計
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工 地域に含める 土地 (令第1条の9)			計	本事業によっ て生ずる土地 改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種 目換地	創設非農用地						合計	国	県	市町 村他	合計			
						土地 改良 施設	その他	小計		改良 区	その他	計			宅 地	その他	計		農業 経営 合理化 施設 用地	必要 な 生活 上・ 経営 用地	公用・ 公共 用地	宅 地等	計									
奥八女東部	従前の土地	1.8	0.3	0.0					2.1																			0.1	0.1		2.2	
	換地	1.7	—						1.7																			0.5	0.5		2.2	
	従前の土地																															
	換地																															
	従前の土地																															
	換地																															
合計	従前の土地	1.8	0.3	0.0					2.1																			0.1	0.1		2.2	
	換地	1.7							1.7																			0.5	0.5		2.2	

3. 農用地集団化の方針

(第25表－4)

区分 換地区名	地帯別・グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当たりの 目標団地数	区画畦畔の取り扱い
奥八女東部	営農グループ別集団 化 集落別集団化	換地は、各人の従前の土地が最も密集した位置 を中心に定める。	1～2	畦畔は配分地積に応じて移動して定める ものとする。 畦畔の設定にあたり、短辺が10m以下に なるような設定は原則としてない。

4. 非農用地換地の方法

該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

項目別採点方式

2. 清算の方法

比例地籍清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表－6)

換地区名	区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
奥八女東部		令和9年度	令和11年度	令和11年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

全域について区画変更工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第89条の2第10条において準用する同法第54条第2項の本文の規定にかかわらず換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		区画整理事業		備 考
区 分		(千円)		
事業費	主 要 工 事	純工事費	104,000	
		測量試験費	8,000	
		用地買収及び補償費	2,000	
		換地費	11,000	
		計	125,000	
工事雑費		2,000		
事 務 費		6,000		
合 計		133,000		
関連事業（参考）				

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年増加見込効果額 (千 円)	年増加見込所得額 (千 円)	備 考
	区 分			
区 画 整 理 事 業	作物生産効果	859	5,861	
	営農経費節減効果	6,251	6,251	
	維持管理費節減効果	△ 10	△ 10	
	農業労働環境改善効果	58		
	国産農産物安定供給効果	565		
	計	7,723	12,102	

<参 考>

総便益(現在価値化) : 120,806 千円

総費用総便益比 : 1.04

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現 況 ・ 計 画 図 面

1. 現況平面図

別紙図面のとおり

2. 計画平面図

別紙図面のとおり

3. 主要構造図

別紙図面のとおり